

令和7年度 第3回学校運営協議会 報告

1 授業参観

2 会議の部

(1) 校長挨拶 本校の近況を説明

本校で発生したいじめ案件について経過説明。

全国生徒生活体験発表大会結果について、本選には進めなかったが、文部科学省初等中等教育局長賞を受賞することができた。部活動、特に文化部について合唱部が伊豆新世紀合唱団と合同で発表会に出場した。東部合同文化祭においても吹奏楽部とともにステージ発表に出場した。探究活動について、2月1日にしずおか高校生探究フェスタにおいて防災に関する展示を行い、生徒3人が参加した。来年度は発表等で参加できるとよいと考えている。

卒年次は75人在籍しているが、現在の時点で卒業できない生徒もいる。卒業の可能性のある生徒については授業の残りは少ないが、卒業に向けて支援していきたい。

(2) 協議事項

学校経営報告書（自己評価）に基づいて、本校教育活動についての説明を行う。分かりやすい授業の実践、ICT機器の活用などについて成果を報告。

(3) 情報交換 ○は委員からの御意見・御質問、Aは本校からの回答等

ア 今後の本校及び地域高校の在り方について

○来年度からの私立高校授業料無償化により県立高校への志願状況等に影響はあるか。

A 相当数の生徒が私立高校に流れるのではないかとと思われる。この影響で再来年度の県立学校の定員数は大幅に減るのではないかと危惧している。また、地域協議会では、三島田方地区の全日制9校（分校含む）を2038年ごろまでに4校に再編するとの方針が示されている。15年後には公立学校89校が60校程度に再編されるといわれ、立地条件（アクセス）のよさもこれからは選ばれる高校の基準になるのではないか。

○本校は、立地条件の優位さ、学習ニーズに合った教育活動など学校としての伸びしろを感じている。授業を受ける生徒を見てものびのびとしている。

イ 家庭への通知について

○（報告にあった）家庭への通知を保護者は確認しているか、また、ペーパーレス化への対応は如何か。

A 家庭への通知を保護者が確認しているかの調査はしていないが、毎月の郵送物には生徒の出欠状況もあり、確認はしていただいていると思う。ペーパーレス化については、（インフルエンザ等の）経過報告書や紙媒体で確認していただいた方がよいと思う書類もあり、今のところペーパーレス化は考えていない。

○通知が届くと子どもも内容が気になるらしい。学校からの通知のうち行事予定など必要なものはすぐに目に付くところに貼り確認できるようにしている。紙媒体の方が家庭としてはありがたい。

ウ ほっとカフェについて

○（報告にあった）ほっとカフェの運営状況は如何か。

A 年間 35 回以上開催している。事業である以上成果を求められるが、出席率の変化などは不明である。しかし、個別に見るとスタッフへ個人的な悩みを相談したり、物資の提供を受けたりするなど外部の大人と繋がることで良い関係を築いていることは事実であり、今後も継続したい事業である。

○うちの子もほっとカフェを楽しみにしている。参加したときには米などをもらって来る。数値には表れないが、カフェがあること自体が大事である。

エ 授業について

○授業が分かる、分からないで生徒の出席率や学校生活の満足度は変わる。授業を見ると先生方がわかる授業を工夫して実践している。

○理科の実験を見たが、全員がゴーグルをすることを嫌がらずに取り組んでいた。日ごろの授業規律が徹底されていることが分かった。

○文化祭もそうだが、今日の実験でも生徒がワクワクする授業が展開されていた。